

連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう!!

労福協

夏号
Shizuoka Rofukukyo Dayori
Summer

だより

(一社)静岡県労働者福祉協議会

第51回 県労福協定期総会

第61回 労働金庫通常総会

第63回 勤労者総合美術展

ろうきんグリーン友の会総会

退職者福祉協議会定期総会

福祉基金「自主研究発表セミナー」

福祉基金(ALWF)協会からのお知らせ

新企画

運動継承!

事業団体職員・労福協役員へ

贈る言葉

新企画

地区労福協事務局長の
リレートーク No.7

人物登場



一般社団法人

静岡県労福協 第51回 定期総会を開催

メインスローガン

連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくらう!!

サブスローガン

- 消費者教育推進地域協議会の設置と協議会へ参画しよう!
- 自主福祉運動の歴史を学び、今後の活動に活かそう!
- 地域に根ざした顔の見える自主福祉運動を推進しよう!

6月11日(火)、静岡県労働者福祉協議会第51回定期総会が静岡クイール会館で開催されました。総会には来賓4名、代議員33名、オブザーバーなど総勢103名の参加を得て開催し、2013年度活動方針案などの議案はすべて満場一致で承認されました。



今回の総会では、静岡県労働者福祉協議会(県労福協)の決算報告が労働組合会計から法人会計に変更したために、例年の議案書より厚くなりました。また、今年は役員改選期ではありませんが、選出団体の人事により4名の理事・監事の交代がありました。

今定期総会は議長に富士地区労福協の西山氏が選出され議事運営が進められました。

2012年活動報告では最初に金指専務理事から県労福協で作成したメッセージボードの紹介がありました。



活動報告では社会的認知度向上に向け、「国際協同組合年静岡県実行委員会」の構成団体の一つとして、各種記念事業、地域・地区労福協と事業団体と協力、連携して積極的な活動に取り組んできたこと。また、地域設立資金を活用して11カ所の拠点が整備出来た事、寄り添いホットライン、「マネートラブルにかつ」の自治体版の発行、自主福祉シンポジウム開催、勤労者共済会の取り組みなどが県労福協の主な活動であったと報告されました。

県労福協活動報告の後、伊東熱海地区労福協の土屋会長から地区労福協の活動内容と伊豆ジオパークについての報告がされました。また、島田榛北地区労福協の片山会長からは若者の会「JOG」の活動報告をいただきました。

2013年度活動方針(案では、金指専務は福祉運動を伝承するためには歴史を学ぶことが必要であると強く訴えていました。今年度の活動の柱は理事会、幹事会でも確認されている、「ブロック別労働者自主福祉討論会」と「語り部1000人プロジェクト」の実現であると提案されました。この提案はそれぞれこれからの静岡県の労働者自主福祉運動に欠かせない重要な活動であることも付け加えられました。

最後に福祉運動を更に高めるために連帯と協同で運動を今年度も進めて行きたいと述べられました。

□吉岡理事長の総会冒頭挨拶(要旨)

なんのために私たちは「連帯」「協同」するのかが、中央労福協でまとめた「労福協の理念と2020年ビジョン」を読むと分かる。

その根本を「大義」と呼びたい。「大義」無きもの、「大義」を忘れた・失った組織は滅びる運命にある。「大義」とともに必要なものもある。それはリーダーの「熱伝導力」である。いくら立派な「大義」があっても、どんなに大きな「組織」があっても、それを掲げて走るリーダーが口先だけであったら、人々はないいてこない。

労福協の「大義」はどこにあるのか。それは賀川豊彦の始めた「救貧活動」に見つけることができる。弱い者たちが弱い者として連帯するという様々な社会運動、事業を一体として実践することにあります。

しかしこの簡単そうなのが実に難しい。それは人には欲があるからである。

先日、静岡ろうきんは60周年を迎えた。おそらく60年前、そんな思いから運動が始まったのだと思う。

全労済もそう、生協連もそう、すべての福祉事業団体がそうであると思う。その原点を見失うと、私たちの運動や組織は社会的存在意義を失う。この1年間で私自身できたことは労福協の役割の明確化ひとつだけであった。

来期はさらに努力し、その定められた役割を磨き上げ、行動する1年としたい。

冒頭挨拶



吉岡理事長

閉会挨拶



加藤幸博副理事長

司会



佐竹副理事長

議長



西山延正氏

審議提案



金指専務

地区報告



伊東熱海地区
土屋会長



島田榛北地区
片山会長

交 替 し た		新 役 員	
	副理事長 よしだ たかあき 吉田 敬哲 静岡県生協連		監事 にしやま のぶまさ 西山 延正 富士地域 労働者福祉協議会
	理事 ますだ たかし 増田 隆 福祉基金協会		監事 なむら ひろし 中村 洋 志太榛原地域 労働者福祉協議会
	前任者 中川 浅行		前任者 森本 建夫
	前任者 木下 達夫		前任者 島村 昌宏

(敬称略)

レベルの高い作品が数多く展示

第63回 静岡県勤労者総合美術展

絵画審査を担当していただいた吉野勝彦先生からは「年期を積んだ手慣れた仕事として、観る人に安心や安らぎを感じさせてくれる作品には敬意を表したいと思います。それにまして新しい表現にチャレンジしている人にもエールを送りたいと思います。」また、写真審査を担当していただいた柴山先生からは、「風景、スナップ、祭りなどいろいろなジャンルの作品が揃い、しかもレベルの高い内容に圧倒されました。」書道の藤田先生からは、「気迫の

第63回静岡県勤労者総合美術展が4月11日から4月15日の5日間にわたりグランシップ展示ギャラリーで開催されました。今回は、県下各地から215点の出品をいただき、期間中の入場者は400名を超え盛況の内に閉会しました。多くの自治体広報誌などで作品募集をお知らせいただきました。また、作品展示中には、報道機関の取材もあり、勤労者総合美術展の記事が新聞掲載されました。今回、金賞・銀賞に12点、奨励賞19点など魅力ある作品が、開催期間中に来場された皆さんへ大きな感動を与えてくれました。



ある精神性を感じるものを第一と考え選しました。中には中央へ出品しても恥かしくない作品も見られ、更なる精進と高い目標を掲げて頑張っていたのだと思います。」また、手工芸の宮崎先生からは「多種多様な素材と表現に本当に悩みますが、どれも何を作りたいか明確で好感が持てます。ますます御自身の技術を磨かれ自由に作品を作っていただきたいと思います。」とのご講評をいただきました。

この「静岡県勤労者総合美術展」は、県内の勤労者が余暇を利用して、健全な文化に親しむ機会を広げ、心の豊かさを求め、ゆとりある生活の充実に寄与することを目的に開催しています。

今回の開催については4月2日からグランシップ展示ギャラリーで作品を展示する予定です。より多くの勤労者の方々に応募いただき展覧会を盛り上げていただきたいと思います。

今から作品の制作を手掛けていただければと思います。



第63回静岡県勤労者総合美術展受賞者（ホームページで作品を見ることができます）

	賞	名前	種目(題名)
金賞	勤労者美術展大賞	水嶋 菊枝	手工芸(春らんまん)
	県知事賞	伊東 裕子	写真(大樹の下で)
	静岡市長賞	高橋 敏夫	書(雨蛙)
銀賞	労福協理事長賞	中野 政之	絵画(都会の喧騒)
	連合静岡会長賞	井上 幸美	絵画(生きる. こと…)
	労働金庫理事長賞	墨岡 富久	写真(航跡)
	全労済県本部長賞	望月 正江	絵画(刻)
	福祉基金協会理事長賞	秋田 勝美	手工芸(沼津萩焼 花入)
	勤労者信用基金協会理事長賞	堀尾 游苑	書(王安石詩)
	年金福祉協会理事長賞	高橋 正	絵画(ふるさと)
	県生協連会長賞	石塚 孝	写真(朝の輝き)
	ユニオントラベル賞	斎藤 勉	絵画(湖の朝)



静岡ろうきん 第61回 通常総会開催

全ての議案を満場一致で承認!!

～「安心」「安全」「健全」な金融機関としていつまでも信頼され
選択いただけるくらし応援バンク(ろうきん)であり続けるために～

静岡ろうきんは2013年6月25日(火) 静岡市葵区紺屋町のグランディエールブケーカイで第61回通常総会を開催しました。

総会の冒頭、加藤理事長から「今総会は、3ヵ年の中期計画初年度である2012年度の事業報告と今後の労働金庫の事業と運動の方向性を確認し合う総会にしたい。」と挨拶がありました。

事業の概要については増田専務理事から、「2012年度は新たな飛躍をめざす3ヵ年と位置づけ中期計画「飛躍」をスタートさせた年であった。また、働くすべての人に安心して利用いただける良質な金融サービスを提供し続けるために7つの重点施策を事業計画アクションプランに盛り込み具体的に活動を展開してきた。預金は増加目標額110億円に対して134億51百万円



挨拶する加藤理事長

と目標を達成できた。融資は10ローンセンター体制の確立や「くらし応援活動」の展開、保証料金庫負担制度により年間増加目標額200億円に対して360億16百万円と大幅に達成した。」と報告がありました。

2013～2014年度 役員体制

役 名	氏 名	所 属 会 員	推 薦 団 体
理 事 長	加藤幸博	員外 (スズキ関連労働組合連合会出身)	
副理事長	鈴木隆博	ヤマハ労働組合	西遠地域労福協
専務理事	戸倉 亨	員外	
常務理事	吉本明憲	員外	
常務理事	大滝 正	員外	
常勤理事	松本光寛	員外	
理 事	鈴木伸昭	静岡県教職員組合	静岡県労福協
理 事	鈴木静夫	J A M静岡	静岡県労福協
理 事	森本賢治	情報産業労働組合連合会静岡県協議会	静岡県労福協
理 事	土屋成人	東海自動車労働組合	伊豆地域労福協
理 事	花澤 学	明電舎労働組合沼津支部	沼津地域労福協
理 事	萩原直之	東芝テック労働組合伊豆支部	沼津地域労福協
理 事	角山雅典	日本製紙労働組合富士支部	富土地域労福協
理 事	本杉弘一	小糸製作所労働組合	静岡地域労福協
理 事	大石雅邦	三菱電機労働組合静岡支部	静岡地域労福協
理 事	中屋敏明	特種東海製紙労働組合島田支部	志太榛原地域労福協
理 事	栗原重弘	旭テック労働組合	東遠地域労福協
理 事	相羽迅人	N T N労働組合磐田支部	中遠地域労福協
理 事	岡村雅夫	F D K労働組合	西遠地域労福協
理 事	青島伸雄	員外	
常勤監事	中嶋 隆	員外	
監 事	曾我一樹	U Aゼンセン静岡県支部	静岡県労福協
監 事	吉田一隆	富士フィルム労働組合富士宮支部	富土地域労福協
監 事	中村 洋	住友ベークライト労働組合静岡支部	志太榛原地域労福協
監 事	藤江 修	全矢崎労働組合浜松支部	西遠地域労福協

議案討議の第2号議案「2013年度事業計画に関する件」は戸倉常務理事より提案がありました。「ろうきんは、利用いただくことによって初めて存在価値が生まれる。利用を通じて『人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与』していくことを基本的な考え方とし、将来に向けた基盤固めとして『運動基盤の拡充』『強固な業務態勢の確立』『利用の促進と財務基盤強化』の3つに取組んでいく。2013年度は中期計画の中間年度として、最優先課題の次世代システムの移行対応を着実にすすめる。預金増加目標額は145億円、融資増加目標額は200億円」と提案されました。

また、今年度は理事・監事任期満了に伴う改選、および補欠の理事・監事の選任についても提案され、すべての議案は＜満場一致＞で承認がされました。

尚、総会終了後、県労福協の金指専務理事と福祉基金協会の木下専務理事より「地域役立資金」の現況報告が行われました。

(公財)静岡県労働者福祉基金協会(A L W F)の調査研究事業部門である静岡ワークライフ研究所は、去る4月26日(金)A L W F ロッキーセンターにおいて自主研究「静岡県におけるサポートシステム構築に関する調査研究」の自主研究成果発表セミナーを開催致しました。セミナーは2部構成となっており、第Ⅰ部では、富田晋司研究員(ワークライフ研究所)が2年間にわたる調査研究の経緯を報告し、第Ⅱ部では「静岡県のサポートシステム構築に向けて」と題してパネルディスカッションを行いました。第Ⅱ部のディスカッションでは、今回の調査研究の主査である布川日佐史教授(法政大学)がコーディネーターを務め、パネリストには秋山憲治教授(静岡理工科大学／若者支援部会)・大塚芳正施設長(特養すどの杜／地域生活支援部会)・大野木里美副代表(N P O 法人浜松ネットワークセンター／就労支援部会)が各部会の代表としてそれぞれの角度から調査を発表しサポートシステムの重要性を語りました。また、会場の参加者からも日頃からサポートシステムとしての活動を続ける上でネットワーク作りの必要性や運営の難しさなどの意見が出されるなど活発に意見交換を行い、盛大に終了することが出来ました。

今回の調査テーマは、誰もが当事者となりうる課題として多くの方に関心を持って頂きたいと思います。特に「地域に根ざした顔の見える活動」を日頃から取り組んでいらっしゃる方々のさらなる活動の手掛かりとなれば幸いです。
※報告書をご希望の方は、(公財)静岡県労働者福祉基金協会 静岡ワークライフ研究所(054-273-3000)担当:田辺までご連絡下さい。

<調査概要>

2008年のリーマンショック以降、公的なサポートシステムの不備が明らかとなり、多くの生活困窮者の存在が社会的課題となる。課題解決に向け、生活困窮者支援策として国のモデル事業P S (パーソナル・サポート)や、既存の福祉サービスでは対応困難な事案に取り組むC S W (コミュニティソーシャルワーカー)など各地で成果を上げていた。当研究会においてもそれぞれの取り組みに関する調査を進めた結果、国の政策と並行した新たなサポートシステム作りが不可欠であるとの結論を出し、「地域生活」「就労」「若者」の角度から提言を行った。

自主研究成果発表セミナー 静岡県における サポートシステム 構築に関する調査研究



労福協って なあ〜に!

パート
29



第31回 グリーン友の会 県連絡会総会開催



ろうきんグリーン友の会県連絡会は、去る5月22日、静岡県勤労者総合会館3F A L W F ロッキーセンターにて県労福協吉岡理事長、労働金庫加藤理事長、全労済佐竹本部長を来賓としてお招きし、第31回総会を開催しました。

主な活動方針として、地域の活動の充実をはかるため、昨年一年間かけて討議してきた組織体制の改革(県連絡会を6地域に分割し、地区から地域に活動を拡大し、充実化を図る)について確認をしました。また、県連絡会本部の幹事会体制の縮小も承認されました。ろうきんグリーン友の会の活動の柱である、観劇ツアー・日帰り旅行の実施、また、ボランティア活動として、タオルを福祉施設等に寄贈、ペットボトルのキャップの回収など引き続き実施していくことも承認されました。

第2部は、静岡大学色川卓男教授による「なぜ消費者推進法が生まれて来たのか? その背景と内容について」講演を受けました。「1960年代から消費者教育の重要性は言われ続けてきたが、なかなか定着していない。また、消費者問題が重層化・複雑化している中では、消費者教育の重要性が高まっている。」と教授は話していました。また、消費者教育を学ぶことで、消費者として能力を高め、そこで得た知見を活かして社会に関わって行く事も重要であると話していました。

第33回 静岡県退職者福祉協議会 定期総会が開催

去る、6月7日(金)第33回静岡県退職者福祉協議会定期総会が開催されました。

60才定年で退職後、そのまま退福協へ加入するという流れが、変化してきている事、労組組合員からも外れていく事から、労組の影響力発揮にも限界が見られる事など、この年代での新規加入が難しい時代になりました。その他にも退福協を取り巻く状況は、大きく変わってきました。しかしながら、退福協が立ち上げ当初から目指してきた目的

- 1.『ろうきんとの生涯取引』
 - 2.『定年退職者・高齢者の生き甲斐づくり』
- に向かって各地区の活動を中心に運動を進めていく事とし、会員の皆様のご理解とご協力をいただきつつ、自らが自主的に参画する事を求めています。
- また、生き甲斐づくり活動については、ろうきんグリーン友の会や労福協をはじめとする各事業団体とできるところは連携していくことを確認しました。



ロッキーカレッジのご案内



親子おこづかい教室

この講座は、小学生を対象とした定額こづかい制導入の入門編。ジャンケンで、買いもの、ハッピー、アクシデントの指示にしたがい、その内容を計算シートに記入することで、こづかい残高が増えたり減ったりしていくもの。ゲーム中、「買う」「買わない」などの選択はこども自らが判断し、保護者はだまって見守ることがルール。こどもたちは、ゲームを通して限られたお金の中でのやりくりや、必要なものと欲しいものの違い、こづかい帳のつけ方を学びますが、保護者にとっても、こどもがどんなことを考え判断していくのかを知るよい気づきの機会にもなります。



日 時: 7/27(土) 9:30～11:30
場 所: 伊東市観光会館別館(伊東市渚町6-16)
募 集: 小学生50名とその保護者
参加費: ¥300 きょうだいで参加の場合は2人目以降¥100
申 込: ライフサポートセンター 東部055-929-9820

日 時: 8/3(土) 9:30～11:30
場 所: ALWF ロッキーセンター
(静岡市葵区黒金町5-1 静岡県勤労者総合会館3階)
募 集: 小学生30名とその保護者
参加費: ¥300 きょうだいで参加の場合は2人目以降¥100
申 込: ライフサポートセンター 中部054-270-3963

【今からはじめる老い支度】

セカンドライフを考えることは、これからの人生を豊かにします。誰でもいつかは迎える老い、第二の人生をどうデザインするか、自分自身が望むものは何かを考えます。



1回目: 10/5(土) (演題未定) ロザンナ・ザンボンさん 共通事項
2回目: 10/19(土) もう君を幸せにできんと泣いた夫(つま) 時 間: 13:00～15:00
～介護を体験して～ 多賀洋子さん 場 所: 静岡労政会館(静岡市葵区黒金町5-1 静岡県勤労者総合会館5階)
3回目: 10/26(土) 私のエンディングノートとお墓・供養の話 募 集: 80名
～私のために、家族のために～ 二村祐輔さん 参加費: 1回¥500
申 込: (株)コープライフサービス 0120-878-940

開催報告

人生笑って暮らしたい!

5/24 沼津労政会館
5/25 浜松労政会館

今から始める老い支度の第1弾は、漫才師 喜味こいしさんの次女で、三味線放談の道を歩む 喜味家たまごさんを招きました。いとさん(父)こいしさん(叔父)との思い出や、いとさんの被爆体験を中心に、途中三味線放談を披露する場面もありました。



もう君を幸せにできんと泣いた夫(つま)

6/1 浜松労政会館
6/4 沼津労政会館

今からはじめる老い支度の第二弾は、認知症のご主人を介護された多賀洋子さんです。ご主人が73歳で亡くなるまでの約10年に及ぶ介護体験から、1人悩み苦しんだこと、生きることに絶望するご主人が自分を思う気持ちに涙したことなど、その時感じた気持ちを表現豊かにお話されました。言葉のひとつひとつが心に響く内容で、すすり泣く声が多く聞かれました。



就職とは違う働き方 社会的起業のコツ

6/19 ALWF ロッキーセンター

静岡市内でフェアトレードショップを営む今井奈保子さんは、青年海外協力隊の赴任先、スリランカで直面した不公平や格差に疑問を抱き、自分を活かせることで社会貢献をと選んだものがフェアトレードショップの運営だったそうです。この日は、お店を開店するまでのストーリーや今後のビジネスプランを語った他、思いの詰まったオリジナル商品の紹介などをされました。また、会場の一面に設けられた試飲コーナーでは、お店で販売されている水出しコーヒー・紅茶、クッキーを楽しみました。



社会貢献活動のご紹介

静岡県労働金庫の会員の皆さんに拠出して頂いた「地震災害対策資金」の、「東日本大震災ボランティア支援活動」への助成として、以下の通り、静岡県ボランティア協会に100万円の寄付を行いました。寄附金は、岩手県釜石市と大槌町に設ける被災地支援施設の建設に活用される予定です。



被災地支援へ100万円を寄付
県労働者福祉基金協会(平野哲司理事長)は19日、県ボランティア協会(神田均理事長)に100万円を寄付した。東日本大震災の被災地支援に役立てられる。静岡市葵区の県総合社会福祉会館で行われた贈呈式で、県労働者福祉基金協会の木下達夫専務理事から目録を受け取った神田理事長は「復興にはまだまだ時間がかかる。皆さんと共に被災地を支援したい」と感謝した。支援金は、県ボランティア協会が活動拠点として岩手県釜石市と大槌町に設ける施設で活用する。



静岡新聞
2013年5月21日

暮らし何でも相談



日常生活で起こるトラブルや悩みごと等のご相談に応じます。お気軽にご利用下さい。

- ★暮らし何でも相談
消費生活、家庭、労働、子育て、介護、年金、住まい、多重債務、融資だけでなく、生きがい、生活設計、ボランティアなど、充実して暮らすための相談なども結構です。
- ★豊富な相談協力ネットワークにより、適切な専門機関をご紹介します。
(弁護士、司法書士、行政機関、社会福祉協議会、金融機関、NPO団体等)
- ★相談は原則無料
- ★県内6箇所のセンターで相談に応じます。

相談ダイヤル
受付は平日
9:00～17:00

東部: 055-922-3715 西部: 053-461-3715
中部: 054-273-3715 中東遠: 0538-33-3715
しだはいばら: 054-646-6055
岳南: 0545-51-3715

●「ALWF(アルフ)ロッキーセンター」のご利用をお待ちしております!!

会議室の利用方法や料金等のお問い合わせ、お申し込み等は下記で承ります。

■問合せ先
公益財団法人 静岡県労働者福祉基金協会
ALWF ロッキーセンター

〒420-0851 静岡市葵区黒金町5-1 静岡県勤労者総合会館3階
TEL 054-273-3000 FAX 054-272-7326



何事も PLUS 思考!



人物登場

地区労福協事務局長のリレートーク No.7

ヤクワ チョウジ
八鍬 兆司さん
榛南地区労福協 事務局長

出身組織:富士フィルム労働組合
役職名:支部書記長

- ①趣味:サーフィン(自宅がビーチまで200m)、酒(呑む、収集)
- ②モットー:何事もPLUS思考!
- ③最近感動したこと:子供から励ましの手紙を貰ったこと(涙)
- ④最近失敗したこと:東京出張時、最終新幹線にタッチの差で乗車できず(汗)

皆さん、こんにちは。

榛南地区労福協にて事務局長を仰せつかっております八鍬(やくわ)です。早いもので榛南地区労福協事務局長も3年目となってしまいました。

弊組の専従書記長になったと同時に就任し、元々、組合役員経験が無かったこともあり、当初は“ロ・ウ・フ・ク・キ・ヨ・ウ???”と言われても想像すら出来ない右も左も分からぬ状態でしたが、会長を始めとして幹事メンバーに温かく迎えて頂き、未だに微力ではありますが地区労福協活動に貢献出来ている?のも、地区メンバー皆さまのお陰です。この紙面をお借りして感謝申し上げます。

我々、榛南地区労福協は地区に留まらない近隣地域を含めた行政要望提言や毎年恒例の親子ふれ愛の集い(映画上映とお楽しみ抽選会)、社協イベント協力などを主に活動しておりますが、とりわけ、「親子ふれ愛の集い」は毎年500名以上の働く仲間や家族、地域の皆様が集う一大イベントであり、その司会を担当させて頂いております。そもそも、控えめで人前に出ることや目立つのが苦手な私なのですが、今年も司会をしながら来場者皆さんの楽しそうな表情・笑顔をステージ上から眺めることができ、多くの方に喜んでもらえる“ふれあい”の場がこのイベ

ントを通じて提供出来ているんだな〜と、あらためて感慨に浸った次第です。我々の活動は地道なもので、その成果は?と問われると容易に即答できるものではありませんが、働く仲間や家族一人ひとりが笑顔でいられることは大きな成果であり、その笑顔を間近で見られるこのようなイベントは我々の活力ですね!

最後に、プロフィール欄のモットーに“PLUS思考”と書きましたが、今年度の弊組支部活動スローガンも“PLUS”です。

この意味合いとしては単なる“PLUS=プラス”ではなく、PはPositive(前向き)、LはLink(つなぐ)、UはUp(元気・上昇)、SはSmile(笑顔)という意味が込められており、一人ひとりが前向きに、そしてその手と手を繋ぎあわせ、みんなで元気に上向きに笑顔となるよう、熟考したスローガンですが、この想いは労福協活動にも繋がるものかと。

暮らしや福祉向上に繋がる前向きな活動を推進し、働く仲間や家族を労福協が繋ぎ合わせ、みんなで元気に上向きに、そして笑顔になる!そんな自主福祉活動を取り組んでいきたいと思っておりますので、今後とも宜しく御願い致します。

運動継承!

事業団体職員・労福協役員へ

贈る言葉

菅沼 隆

(元県労福協 事務局長)

4回シリーズ
その1



※2011年から掲載している「自主福祉運動の歩み」ですが今回から3人目の寄稿者となります。現在、興津に在住の「菅沼隆」さんです。菅沼さんは労働金庫出身で県労福協の事務局長を昭和62年から10年間務められました。現在の県労福協の専務(事務局長)は労働金庫出身者ですが、その以前は労働団体の出身者が県労福協の事務局長を務めており、初めての事業団体出身の事務局長として労働団体の調整などで大変ご苦労された方です。

〳労働者福祉運動の定着と発展への一端〵

県労福協の設立より、先行して地区労福協がスタートした経過はご承知のことと思います。難産のすえ、昭和39年に県労福協が設立され、県下一円に統一された指導の基に、各地区労福協で活動が展開されてきたわけであります。その中で注目すべき点は、労働部会の存在と役割があります。(部会は労金預金一億円を保有する組

合により構成)それぞれのナショナルセンター(県評、同盟、中労連、新産別)は、政治的にも労働組合の基本的な考えの違いがあります。しかし労働者の生活に於いては誰でも同じ社会環境の中で生活を送っています。福祉事業団体活動(労働金庫、全労済、住宅生協、消費生協)の推進は心を合わせ、労働者の社会的地位向上のため、「福祉は一つ」という立場でお互いの主義主張を乗り越え、取り組んできた労働部会の存在は高く評価したいと思います。その成果が今日の福祉事業団体の発展に繋がっているのではないかと考えます。県労福協の設立が地区労福協の設立より遅れた理由は、これらのナショナルセンターの調整に手間取ったとも言えます。

また、労働部会では労働者の福祉活動の〳あり方を果たす役割〵として昭和51年に1万人アンケートを実施し、労働者ニーズの把握に努め、これからの活動の指針と

しました。内容を若干紹介すると、高齢化社会に対応した老人ホーム等の建設が一番高い関心事でした。二番目は、ゆとりと余暇を求めた保養所等の建設、三番目は医療生協病院の設立、等々の課題は山積していました。それ以外は保育所、霊園、体育施設、旅行事業等の推進を県労福協に多くの労働者は期待を寄せていました。

これらを推進するために、静岡県と積極的な話し合いを持ちました。また、役員自らがより多くの知識をもつ必要性から、先進県の視察研修を行ってきました。毎年開催される中央労福協並びに東部ブロック労福協の研修会へは積極的に参加し、各地方の活動内容を研修してきました。更には国際的な視野を広める必要性から、静岡県に要望し、労使で欧州労働事情調査団を毎年派遣することにしました。昭和54年より続いたこの調査団は現在中止されています。

・・・次号に続く

磐田
地区労福協

中遠地域 労福協フェスタ 開催



4月27日に小笠山総合運動公園エコーパにて、中遠地域労福協フェスタが開催されました。当日は、抜けるような青空でしたが、まるで遠州のからっ風が吹き抜けるような大変強い風で、ちょっと目を離した瞬間に、3角コーンや軽めの売り物などは吹き飛ばされていました。しかし、テントや看板などが飛ばされることもなく、怪我をされた方が出なかったことは、風対策に細心の注意を払った結果だと思っています。

メーデー終了後、鳥居会長の開会宣言により、フェスタの幕が切って落とされました。多くの労組のご協力により、食べ物系やゲーム系などの各種模擬店や乗り物系やフアア

などのキッズコーナーが設けられ、どのコーナーも多くの人で賑わっていました。お陰を持ちまして、チャリテイバザーのコーナーも完売することができ、その売り上げは袋井市・磐田市の社会福祉施設に寄付をさせていただきます。また、ステージではヤマ発労組さんのアンサンブル演奏を皮切りに、お客さんがついつい立ち止まって見入ってしまう楽しいステージが繰り広げられました。最後は、日星電気労組さんによるライブが行われ、フィナーレではスタッフも参加して「イマジン」を熱唱。フェスタの幕が下ろされました。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

当日は、季節外れの寒さが身に凍みるあいにくの雨模様の中「つながろう！みんなおいでよ労福協」をスローガンとして労福協まつりはスタートしました。11時前には雨も上がり、約5,000人の来場者を迎え、焼きそば・おでん・わたがし・金魚すくいなど約30の出店ブースがにぎわいました。寒さゆえ、かき氷を食べている姿が我慢大会の様相となる一方、お汁粉や豚汁のブースでは、冷えた体を温めてホッとした表情が印象的でした。

静岡
地域労福協



2013年4月21日(日) 静岡地域労福協まつりが開催

当日は、季節外れの寒さが身に凍みるあいにくの雨模様の中「つながろう！みんなおいでよ労福協」をスローガンとして労福協まつりはスタートしました。11時前には雨も上がり、約5,000人の来場者を迎え、焼きそば・おでん・わたがし・金魚すくいなど約30の出店ブースがにぎわいました。寒さゆえ、かき氷を食べている姿が我慢大会の様相となる一方、お汁粉や豚汁のブースでは、冷えた体を温めてホッとした表情が印象的でした。

バスケットシュートや輪投げのブースでは、お子様がお父さんやお母さんと歓声をあげながら楽しんでいました。親子のふれあいのひときはやっぱり微笑ましいものです。獣電戦隊キョウリュウジャーによるショーも開催され、子供たちの熱い声援により無事、正義は守られました。

最後に大抽選会が行われ、見事当選をされた方々に満面の笑みと共に景品をお持ち帰りいただきました。抽選番号の発表を最後までご確認いただいた皆様方、本当にありがとうございました。はたらく人とその家族に労福協活動を知っていただき、労福協役員を含め、皆の絆を強めていく場となるよう、労福協まつりを毎年恒例の行事として、これからも盛り上げていきたいと思っています。

袋井
地区労福協



東京ドーム 野球観戦ツアー

5月3日、恒例の「東京ドーム野球観戦ツアー」に行ってきました。今年も受付開始日より多くの皆さんにお申込みいただき、13会員80名・バス2台で、巨人対広島戦を観戦しました。

連休中で渋滞が心配されましたが、行きのバスの中でもビングゲームで楽しい時間を過ごし、予定通り12時30分頃に東京ドームに到着。ナイター試合のため各々東京での自由時間を満喫していただいた後、野球観戦となりました。



じり、それぞれひいきチームのグッズを片手に熱の入った応援をしました。逆転されたりホームランが出て追いついたりして試合はもつれましたが、最後は延長10回、巨人の適時打でサヨナラ勝ちという展開に、観客席も大変盛り上がりしました。

試合結果の予想ゲームも行われ、80人中1名の方が勝敗と点数を見事に当てて、賞品をゲットされました。

祝日だったこともありお子様連れで参加された方が多く、家族や友人と楽しい時間を過ごし、親睦を深めました。

裾野
地区労福協

カーブミラー 清掃日和!?



4月14日(日)に交通安全週間に合わせて例年実施している「交通安全活動」として裾野市内のカーブミラー清掃を行いました。この活動の目的は、地区労福協活動方針に沿い、ボランティア活動として、交通安全活動を展開し広く市民をはじめ多くのドライバーに交通安全をPRし、交通安全に対する啓蒙の一助とする。また、交通事故の多くは交差点に集中しており、普段何気なく利用しているカーブミラーを重点として清掃奉仕活動を実施する目的で行っております。

当日は絶好の清掃日和?となり、開会セレモニーでは、裾野市より商工観光課課長、4月1日に開署したばかりの裾野警察署交通課長、顧問議員より挨拶をいただきました。セレモニー終了後、参加各単組(15単組・242名)ごとに地区割りした場所へ移動し作業を開始、カーブミラーの破損等の点検も兼ね約2時間掛け終了しました。綺麗に磨かれたカーブミラーで少しでも交通事故が減少することを願っております。

おかげさまで60年。

オートローン『役立宣言』
無担保住宅ローン『役立宣言』
教育ローン『役立宣言』

2013年
9月30日まで

【60周年】
プレミアム金利 年1.96%

〈返済期間3年以内・固定金利でご利用の場合〉
●表示の内容は2013年7月1日現在の内容です。
※適用金利は、期間中でも変更となる場合がございます。

ご注意事項

【「役立宣言」シリーズ(3商品)のご注意事項】※返済期間3年超5年以内の固定金利・変動金利のお取扱もしています。●表示の内容は2013年7月1日現在の内容です。●ご融資額／最高1,000万円●ご返済期間／最長10年間(教育・無担保住宅ローンは15年間)●担保・利用手数料等は不要です。●保証人は原則不要です。保証機関の保証をご利用いただきます。勤務先の労組・互助会等が(ろうきん)の会員で、その会員にご所属の方は、保証料を(ろうきん)が負担します。静岡県勤信協保証の場合、年1.0%の保証料を別途ご負担いただきます。●返済試算表は、店頭またはホームページで入手いただけます。●事業目的にはご利用いただけません。●諸条件により、お客さまのご希望にそえない場合もございます。●詳しい説明書は、県内の(ろうきん)の営業店にございます。

いつもあなたの目線で。
R 静岡ろうきん

ビババ de ろうきん 携帯電話からでもOK!

フリーダイヤル 平日 9:00~18:00
0120-609-123

インターネットホームページ
http://shizuoka.rokin.or.jp

読者のページ

■いろいろな活動が紹介されており、また今後の生活に活かせる情報の提供などとても参考になりました。学生を持つ親ですので、「マネートラブル」について教育していただけるのはとても助かります。第3者の言葉の方が率直に聞けるとときもありますから。次回も楽しみにしています。 磐田市 渥美様

■今回のリレートークの「超えられない壁はない」の言葉が響きました。この春の辞令で、ガラッと仕事内容が変わり減入っていたときにありがたく読ませていただきました。 浜松市 本間様

■東日本復興支援ジェフグルメカードを購入し、いつも世話になっている両親にプレゼントしました。食べた事のない「ケンタッキーに行ったヨ!!」と喜んで頂き、社会貢献もでき、幸せな気分になりました。 浜松市 富永様

■第8回川柳、とてもおもしろく笑わせてもらいました。お題は「財布」。ほんと、なるほどと思うものばかり、近年消費税が8%となる世の中、サラリーマンには、とってもきつい、数字ですよ。ますます節約しなくては... 磐田市 大箸様

■労金も今年で還暦なのですね。私は昨年還暦になり人生の来し方など、いろいろ考えてしまいましたが過ぎ去った事を思うより明日からの事を考えるよう気持ちを切りかえました。 伊豆の国市 水口様



あなたも労福協だよりにご意見、ご質問をお寄せください。掲載させていただいた方には粗品をプレゼント!

事務局員紹介 清水

(清水地区労福協担当)



氏名／有賀 京子

血液型／AB型

趣味／思い付き料理
旅行(食べ歩き)
細かい物作り

清水地区事務局として、6年目になりました。役員さん達とも、楽しく仕事させていただいています。これから、もっともっと盛り上がりつついける活動をしていきたいと思っています。プライベートでは、娘のアンジーちゃん(トイプードル11ヵ月)を溺愛している、親バカです。

あなたも

2,000円をゲットしよう!

ホームページからの応募も可能です

1. 県労福協ではブログを持っています。
検索サイトで何と検索すれば良いのでしょう。
A あちら黒金町3階です。
B こちら黒金町4階です。
C そちら黒金町5階です。
2. 4月14日に社会貢献活動としてカーブミラーの清掃奉仕を行った労福協は
A 袋井地区労福協
B 静岡地域労福協
C 裾野地区労福協
3. 6月11日に県労福協の定期総会が開催されました。
第何回目の定期総会でしょうか
A 31回 B 41回 C 51回

答えをA・B・Cの中から選んでいただき、ハガキ・FAX・E-mailの何れかでご回答ください。正解者の中から、抽選で5名様に2,000円のUCギフトカードを差し上げます。また、ご意見・ご感想等をお寄せいただき、掲載させていただいた方には粗品をプレゼントします。

■締切日 2013年8月30日(金)まで [消印有効]
■記載項目 ①お名前 ②電話番号 ③郵便番号と住所
④クイズの答 ⑤メッセージ

応募先 〒420-0851 静岡市葵区黒金町5-1
県労福協「だより編集係」
FAX 054-273-3110

E-mailは労福協ホームページの郵便ポストをご利用ください。

郵便ポストをクリック

クイズ 前回の答え

- (1) B: 60周年
(2) B: 8回
(3) A: マネートラブルにかつ!

当選者

- 磐田市 藤森 絢 様
○伊東市 土屋 孝弘 様
○駿東郡長泉町 坪根 賢二 様
○磐田市 三浦 剛 様
○浜松市 村重 幸治 様

応募総数84通の内、正解者の中から抽選した結果上記の方々当選されました。おめでとうございます。

労福協のホームページ

*クイズの応募やご意見等の投稿ができます

検索サイトはこちらから

静岡県労福協

検索

労福協のブログ

*営業日は毎日アップしています。

検索サイトはこちらから

こちら黒金町

検索

静岡県労福協加盟団体のお客様限定 サンリオピューロランド 前売券 特別販売のお知らせ

屋内型なので
雨が降っても
大丈夫!

サンリオピューロランド 一部 大幅リニューアル

お楽しみにね♪



©'08-'13 SANRIO/SEGA TOYS S・S・W・TX・JLPC
©'75-'76-'79-'84-'88-'91-'93-'96-'99-'01-'04-'05-'13 SANRIO

株式会社 静岡ユニオントラベル
HPアドレス <http://www.union-travel.co.jp>

電話 054-203-6877
FAX 054-203-6878

〈担当〉
山下・滝浪

入場とアトラクションが楽しめるパスポートチケットの前売券販売を実施致します。ご家族・ご友人をお誘いの上、素敵な一日をお楽しみください。

有効期間 2013年7月20日(土)～9月30日(月) 9/5・11・12は休館日

特別前売料金
3才以下無料
通常パスポート料金
大人(18才以上) ¥4,400
中人(12才～17才) ¥4,000
小人(4才～11才) ¥3,300
大人1名様料金 ¥2,400
中人・小人1名様料金 ¥2,300

販売枚数 制限無し

販売期間 2013年9月6日(金)まで

お申込み方法
・ユニオントラベルHP《<http://www.union-travel.co.jp>》のイベントチケットよりオンラインショップにてお申し込みください。
・チケットはお申し込み後、3日以内(土日を除く)に発送させていただきます。
・チケット送料は3枚以上は無料になります。
・その他詳しい内容は、HPをご覧ください。

今日、「まさか」 について考えよう。

今日もいい天気だけど
ここに防災ずきんを

今日もごはんがおいしいけれど
ここに防災ずきんを

何気ない毎日が
いちばんしあわせだから

何気ない毎日にこそ
まさかについて考えよう

いつもここに防災ずきんを

自然災害保障付 火災共済

風水害等給付金付火災共済・自然災害共済

火災・地震・風水害・落雷・盗難まで、幅広く保障します。^{※1}

- 持ち家でも賃貸でも、あなたの住まいに合わせてご加入いただけます。
- スピーディーな生活再建へ。火災は、70%以上の焼破損割合で全焼損扱い。
- 被害を受けた住宅や家財は、同程度のものを新たに購入できる「再取得価額」で保障。^{※2}

※1 地震、盗難については、自然災害共済にご加入の場合、保障されます。 ※2 風水害・地震などのときは保障額が異なります。こちらに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。ご契約の際は「1パンフレット」「ご契約のてびき(契約概要・注意喚起情報)」を必ずご覧ください。

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会
全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて各都道府県生協の組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

暮らしをトータルに見守る多彩な共済
<http://www.zenrosai.coop/shizuoka>

全労済静岡県本部

静岡県労働者共済生活協同組合

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠2-13-4 ☎054-254-1180

東部支所(共済ショップ沼津店) 〒410-0046 沼津市米山町11-24 ☎055-923-1755
中部支所(共済ショップ静岡店) 〒420-0839 静岡市葵区鷹匠2-13-4 ☎054-254-3312
西部支所(共済ショップ浜松店) 〒430-0929 浜松市中区中央3-15-37 ☎053-453-5888



労福協だより 2013 夏号

発行日/平成 25 年 7 月 1 日 発行所/ (一社) 静岡県労働者福祉協議会
発行責任者/金指 敦之 TEL.054-221-6241 FAX.054-273-3110

検索サイトからもご覧いただけます

●Eメール

●インターネットホームページ

rofukukyo@mx1.s-cnet.ne.jp

<http://www.s-cnet.ne.jp/~scn00855/>

静岡県労福協

検索

